

平成30年度予算見積調書

課室名：生徒指導課

担当名：総務・登校支援・中退防止担当

内線：6744

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B48	自分発見！高校生感動体験プログラム事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	非行防止対策費	
事業期間	平成18年度～平成33年度	根拠法令	なし			宣言項目	06 次代を担う人財育成		
						分野施策	030621 豊かな心と健やかな体の育成		
1 事業の概要 本県では、中途退学者に1年生の占める割合が高い。そこで、中途退学率の高い学校の1年生に焦点を当て、就労体験や社会貢献活動、自然体験活動などの体験活動に取り組みせ、豊かな人間性や社会性、コミュニケーション力を身につけさせたり、自己有用感を高めたりすることで意義のある高校生活を送れるようにし、中途退学率の減少を図っていく。				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 就労体験活動 地元企業、商店及びロータリークラブ等と連携して該当校8校の1年生全員が5日間の就労体験を行うことで、高校生活に意義を見出させる。 5,273千円 イ 社会貢献活動 被災地ボランティアや、地元自治会、小・中学校等と連携し、地域の清掃活動をはじめとしたボランティア活動を行う。当該校8校の1年生全員が年間で3回の活動を通して、他者との交流の中で社会性やコミュニケーション力を身につけながら、自己有用感を高める。 4,934千円 ウ 自然体験活動 農作業体験や登山、クラフトづくり、アドベンチャー活動などの自然体験活動を該当校8校の1年生全員が年間で1回以上行うことで、協調性や責任感を養うとともに、自ら学び考え、よりよい生活を創り出す力と豊かな人間性を養う。 3,828千円 (2) 事業計画 ア 就労体験活動 就労体験の受入事業所の開拓、事前・事後の指導の他、体験活動中は巡回指導を行い、生徒が高校生活の意義を見いだせるようきめ細かい指導を行うことで中途退学率の減少を図る。 イ 社会貢献活動 小学生への交通安全活動や被災地ボランティア、地域の方々や小中学校との連携した活動など、他者との交流によって社会性やコミュニケーション力を身につけるとともに、他者から感謝されることで、自己有用感を高める体験活動とする。 ウ 自然体験活動 自然の中において普段の生活とは異なる環境や人間関係の中に身を置き、農作業体験や登山、クラフトづくり、アドベンチャー活動や宿泊体験など自然の中でのさまざまな体験を通じて豊かな人間性や協調性、責任感を養う。 (3) 事業効果 公立高校1年生の中途退学率及び中途退学者数を減少させることができる。ひいては公立高校全体の中途退学率及び中途退学者数を減少させることができる。 公立高校（全日制）中途退学者数 (24年度) 1,460人→(28年度) 1,085人→(33年度) 1,180人【目標】 公立高校（全日制）中途退学率 (24年度) 1.24% → (28年度) 0.93%→(33年度) 1.00%【目標】					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円									
財 源 内 訳									
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	14,035							14,035	△1,760
前年額	15,795							15,795	